

平成24年度第3回芦屋市指定管理者選定委員会（養護老人ホーム和風園）会議録

日 時	平成24年11月30日（金） 18:00～19:30
会 場	市役所 北館2階 会議室3
出席者	委員長 朝沼 晃 副委員長 山本 隆 委 員 遠藤 尚秀 高原 利栄子 中野 久美子 市出席者 総務部参事 青田 悟朗 総務部主幹 宮崎 哲郎 総務部行政経営課主査 宮本 剛秀 保健福祉部参事 津村 直行 事 務 局 保健福祉部高年福祉課長 安達 昌宏 保健福祉部高年福祉課課長補佐 木野 隆
会議の公表	公 開 非公開 部分公開 < 非公開・部分公開とした場合の理由 > 法人など団体を選定する会議であり，法人情報などが含まれるため。
傍聴者数	0人

1 議題

- (1) 面接審査
- (2) 候補者の選定

2 議事

(朝沼委員長)

本日の議題に入りたいと思います。指定管理者の応募が1社ですが，面接審査を行うことになっています。目安としてプレゼンテーションを15分程度で法人の提案等の説明をしていただき，20分程度で質疑等を行いたいと考えています。その後，書類審査と併せて審査要領に従い採点していただきたいと思います。それでは，今回の応募法人の聖徳園の方に入室してもらってください。

< 聖徳園 入室 >

(朝沼委員長)

面接審査を行いません。目安として法人の提案説明のプレゼンテーションを15分程度で質疑等を20分程度と考えています。それでは，よろしくをお願いします。

(事業者)

それでは，社会福祉法人聖徳園の概要を説明させていただきます。聖徳園は45年にわたり，大阪，兵庫，福井で児童・母子・障害・高齢などの施設を運営しており，社会福祉支援に取り組んでいますが，その始まりは，昭和9年に創始者が近隣の子供達によりよい環境を提供したいといった思いをもって設立した日曜学校に端を発しています。

その後，社会福祉法人に認可され，具体的な施設へと時代や地域の求めに応じて展開するようになっていきました。聖徳園の福祉観はヒューマニズムをもって，高度な専門性をもって，人のために尽します。その思いをいしずえに心のこもった福祉を提

供したいと思っています。

平成18年にはISO9001を取得，安全の確保，個人情報や情報の開示，環境への配慮，サービスの質の向上を各施設の基本姿勢と考え，常に業務の改善に取り組み，常に向上する法人を目指しています。また，求められるサービスを取り入れていくという聖徳園の行動指針に変わりはありません。

また，在宅福祉事業においては訪問介護等を確立させ，福祉制度の狭間で生活に困難をきたしている自立支援を必要とする方々に社会貢献事業の取り組みとして，聖徳園は必要な方に支援を行っていきたいと思います。聖徳園の各地域で運営する50の事業は極めて健全であり，平成25年に地域密着型特養を西宮に建設する予定です。昭和28年老人福祉の第1歩として，芦屋市に有料老人ホームを設立，当時の市長の要請を受け，特別養護老人ホーム等を平成2年に実施しています。

平成20年に芦屋市養護老人ホーム和風園の指定管理者の指定を受けました。5年間の実績として，施設管理として保守管理，危機管理，個人情報管理など，また，収支の経費節減等を行ってきました。入所者に対しては，身体面では転倒防止プログラムなどの活用など行ってきました。結果，転倒者が減少しています。また，レクリエーション事業を行い，高齢者に楽しみの時間を持ってもらうようにしています。

地域支援事業として体操教室などを行い，地域との交流を図っています。

隣接するあしや聖徳園のバックアップ体制もあり今回も，応募しました。

(朝沼委員長)

それでは，質疑がありましたらお願いします。

(山本副委員長)

平成19年度から平成24年度までの養護老人ホーム和風園の指定管理をしている法人として，一番達成したことは何か。また，課題として残された事柄は何ですか。

生きがいについて随分，力を入れていただいていたかと思いますが，レクリエーション事業などは，いかがですか。

(事業者)

レクリエーション事業として週に5回，歌を唄ったり，頭の体操や身体の体操をしたりしています。参加者については，最初は少なかったが，現在は入所者の半数以上の参加になっています。また，みんなで行うことだけでなく，要望を聞いて個別にできる手芸教室などを取り入れています。また，室内だけでなく，外出する機会も必要だと思いますので，散歩や庭での体操，そして今年度から職員が同行して行っている個別外出など，生きがいや楽しみなどの活動をしています。

(山本副委員長)

活動のプログラムなど決めていくのに職員間での情報の意見共有やモチベーションを高めることをどのようにおこなっていますか。

(事業者)

職員会議の中で協議していますが，入所者に一番近い相談員の意見を重視してプログラムを考えています。

(山本副委員長)

課題として思われるものは何ですか。

(事業者)

ハード面になるのですが，建物として老朽化していることと段差が多いということです。入所者も高齢化が進んできて，我々としては，改善していきたいと考えています。ソフト面ですが，認知症の方が増えてきていますので，自立者と同じように生活

するのは難しくなってきましたので考えて行きたいと思います。

(山本副委員長)

現状では認知症の程度等を把握されていますか。

(事業者)

認知症として把握している方は5,6名程度です。少しずつ症状がでてきている方もいます。

(山本副委員長)

スタッフのかたは、認知症の研修等を受けていらっしゃいますか。

(事業者)

認知症の研修として社内研修や外部研修を受けています。

(山本副委員長)

人材の確保と職員の配置等、また職員の処遇については、いかがですか。

(事業者)

地域ごとに管理者がいて、枚方の本部に5名ですが、給与関係、休暇関係などでは夜勤手当のアップ、本人の希望による研修、他の事業所への研修の実施、1年ごとに介護職を雇い、介護職の離職率についても、聖徳園は少ないと思います。

(朝沼委員長)

研修について全て一緒に行っているのですか。

(事業者)

研修については、法人全体の研修と養護老人ホームとしての研修などを行っています。

(遠藤委員)

コンプライアンスの研修等を行っているかと思いますが、和風園として、どのような研修ですか。

(事業者)

様々な種類がありますが、入所時の研修や年数に応じた研修を行っています。職員にそれぞれ手帳を渡し、コンプライアンスについて徹底しています。

(朝沼委員長)

施設の入所者は高齢者ですが、気になるのは感染症です。平成22年度に入院したケースがあるようですが、何かの感染症ですか。

(事業者)

過去5年間では、インフルエンザに感染したかたは2名でした。転倒による骨折が多かったと思います。そこで転倒予防プログラムを導入ということになりました。

(山本副委員長)

転倒の場所はどこですか。

(事業者)

廊下や個室のドアのところですか。自立しているとはいえ、年齢に応じて転倒しているようです。段差も原因になっているようです。

(中野委員)

定員30名となっていますが、現在15名ほどが入所していますが、急に措置入所される方があって多くなった場合、スタッフの人員体制の対策をとっておられますか。

(事業者)

兵庫県だけで現在4箇所、聖徳園の施設があり、阪神大震災のときも枚方の施設から応援していますし体制は整っていると思います。

(朝沼委員長)

自主事業としましては健康体操，栄養改善教室などを行っておられますが，新たな自主事業の計画がありましたら教えてください。

(事業者)

計画としましては安心コール事業を考えています。それと地域のふれあいサロンを行い，地域との交流を考えています。

(朝沼委員長)

いままで実施された自主事業は，外部の人達も参加できるのですか。

(事業者)

自主事業は，外部の方の参加もできます。

(朝沼委員長)

それでは，これで質疑を終えたいと思います。

<事業者 退出>

(朝沼委員長)

それでは，採点に移りたいと思います。採点された委員から集計係へ提出してください。

<事務局 選定表を回収後，集計。集計後，集計表を配布>

(朝沼委員長)

審査要領に基づき採点した結果500点満点の432点となります。この結果を踏まえて芦屋市立養護老人ホーム和風園指定管理者の候補者選定基準に基づき，応募者から提出された事業計画書，和風園の管理に関する業務の収支予算書，法人の財務状況に関する書類等の書類審査及び面接審査を行った結果，候補者は指定管理者としての能力は十分であり，提案全般を通してその提案内容が妥当であり，面接審査においても，指定管理業務に意欲をもって取り組む姿勢が見られたので，委員会として候補者として選定したいと考えますがよろしいでしょうか。

<異議なし>

(事務局 安達)

それでは，これを報告書とさせていただきますので，原本に順次署名をお願いいたします。

(朝沼委員長)

長時間に渡ってご苦労さまでした。これで結果が出ましたので全ての議事が終わりました。これで委員会を終了させていただきます。

以 上